

郷土の魅力発見・体験プログラム普及事業

地域わいわいワークショップ 大蔵村 「えんにち遊び」

最上教育事務所

実施を希望する市町村公民館等、または、ボランティアサークルの企画等において実施する「中学生が企画・実施する、小学生向けの地域の良さを体感できるプログラム」を創設・実施することで、参加した小学生が、中学生になり事業を企画・実施していく地域に学び、地域に貢献する循環をつくる。

ボランティアサークル

実施する市町村の公民館職員等

高校生

サークル活動の中で実施できます。

中学生



めざす子ども像
地域について理解を深め、小学生を対象とした地域学習活動を実施することで、地域に貢献できたという自己有用感を高める

「中学生が企画・実施する、小学生向けの地域のよさを体感できるプログラム」の実施

高ボラへのつながり



地域わいわいワークショップ

最上教育事務所

社会教育主事がプログラム企画・運営を伴走支援

将来の参画者に

最上地域の良さ

豊かな自然

多様な文化

人とのつながり

郷土愛の育成

小学生



将来自分もあんな中学生のようになりたい。

自分が住んでいるところには、こんな良さがあるんだね。

「小学生向けの地域学習活動」への参加

めざす子ども像
地域への愛着と、中学生へのあこがれを持ち、地域活動に参加しようとする意欲を高める

大蔵村・大蔵中学校への説明・打合せ

①大蔵村高校生ボランティアメンバーへの事業説明

6月23日（月）

②大蔵中学校にて全校生に説明

7月16日（水）村担当者と全校生へ説明

企画会議

7月30日（水）

参加者：中学生 1 名

高校生 4 名

大蔵村教育委員会職員 2 名

最上教育事務所 2 名

場所：大蔵村中央公民館

内容：実施内容の検討

- ・前年度の活動を参考に、実施する内容を「ボール入れ」・「ビーズづくり」を実施することを決定した。

大蔵村「えんにちごっこ」

8月6日(水)

大蔵村中央公民館

○参加者

小学生 24名

中学生 2名

高校生 3名

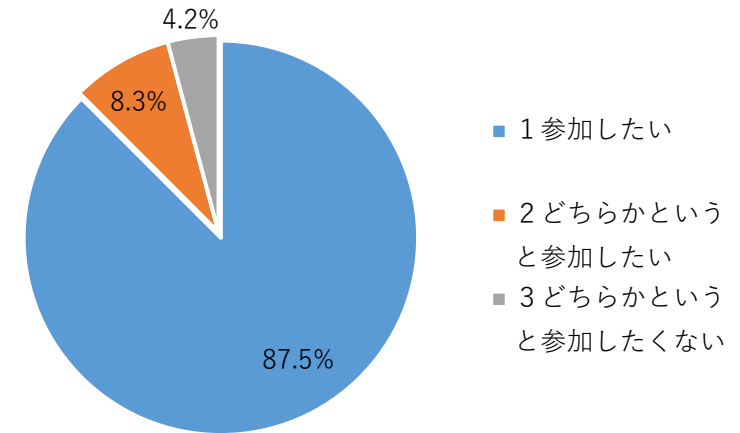
村職員 3名

事務局 6名

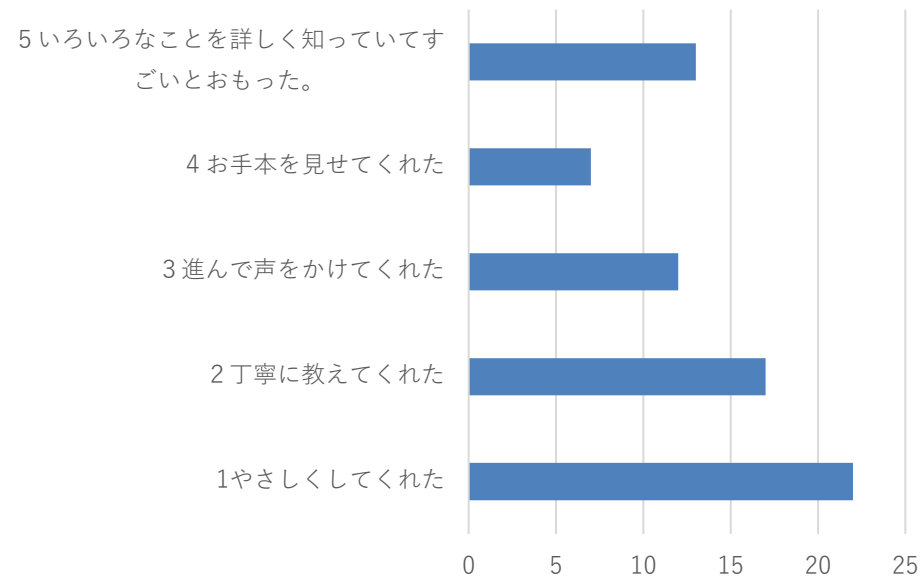
参加した小学生のアンケートから

活動の感想…楽しかった100%

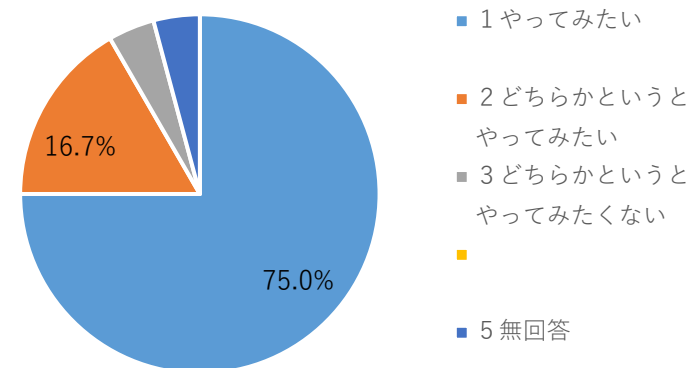
来年も参加したいか



中学生と活動してみて



中学生になって



参加した小学生のアンケートから

○高校生や中学生が丁寧に教えてくれた。玉入れでボールが入らなかったけど、最後入って、達成感があった。

○優しく教えてくれたし教え方がゆっくりで聞きやすかった。

○わからなかったところもあったけど教えてもらってできるようになれてうれしかったです。

めざす子ども像
地域への愛着と、中学生へのあこがれを持ち、地域活動に参加しようとする意欲を高める

中学生や高校生と楽しくかかわりながら、活動に取り組む様子が見られた。中学生になったら、自分が内容を考えたい教えたいという感想を持つ子が多かった。



参画した中学生・高校生のアンケートから

気づきや学び

○子どもとの接し方・関わり方

○どうやったら楽しく遊べるかを考えることができた。

感想

○小学生の子どもたちと楽しく遊べたし、声掛けもできた。

○役に立てて良かった。



めざす子ども像

地域について体験的に学び、理解を深め、小学生を対象とした地域学習活動を実施することで、地域に貢献できたという自己有用感を高める

日ごろあまり関わらない小学生と楽しく活動することで、声のかけ方など学ぶ場面が多かった。自分が役に立ったという感想から自己有用感を高める事ができたと考えられた。

大蔵村職員のアナケートから

- どちらも始まりは、恥ずかしそうだったが、時間が経つにつれ一緒に楽しく過ごしている様子が印象に残った。
- このような事業を通して、中高生と児童が交流できることはよい体験だと思います。これからもこのような取り組みを広めていってほしいと思った。
- 高校生や中学生のボランティアへの関心を高めることのできるととても有意義な事業だと思います。またこのような機会があればよろしく願いしたい。

全体のまとめ
(成果と課題、
今後に向けて)

令和7年度の今後に向けてより

◎最上地区のボランティアサークルを中心として、高校生と中学生が企画し、だがしや楽校のような形で実施するという方法が地区として実施しやすいと考える。



○大蔵村高校生ボランティアサークルと連携を取りながら進めることができた。参加した中学生とサークルのつながりを作ることができた。

●中学生の参加を促すために、どのような働きかけをすると効果的なのか検討を続けていきたい。